

イスラエル、ネタニヤフ・トランプ会談まで第二段階移行を延期

パレスチナ・クロニクル・スタッフ著、脇浜義明訳、 2025年12月25日



ネタニヤフ首相は、トランプ大統領との会談に先立ち、ガザ停戦合意の第2段階への進展を、ガザ地区に遺留されている最後のイスラエル人遺体の回収を条件とした。

今日のイスラエル・メディアは、ネタニヤフ首相がイスラエル人人質の遺体が最後の一人が回収・返還されるまで、停戦合意の第二段階に進まないという条件を出したと報道した。チャンネル13によると、米国フロリダ州マイアミで予定されているネタニヤフ・トランプ会談に備えて、現在閣僚小会議が開かれている。これは今年5回目のネタニヤフの訪米となり、今回の訪米は12月28日から1月4日までの期間である。

この訪米に関して、チャンネル15は、両首脳はガザ、シリア、レバノン、イランに関する4つの問題を協議すると伝えた。

さらに、イスラエル・メディアは、この会談に先立ちトランプ大統領の特使であるスティーブン・ウィットコフが、来月初めには合意の第二段階に進むことをイスラエル政府に伝えたと報じた。イスラエルは、最後の人質とされるラン・ゴエリの遺体の回収と引き渡しを停戦第二段階の交渉開始の条件としている。ハマスはガザの破壊状況や作業機材の不足から遺体回収には時間がかかると言っている。

10月10日の停戦発効以降、パレスチナ抵抗各派は、まず生存人質20人を引き渡し、さらに瓦礫の中から回収した27人の遺体も引き渡した。ゴリエの遺体は依然として見つからず、アル・カッサム旅団と赤十字の合同チームが搜索している。

第2段階合意

10月9日にハマスとイスラエルは、エジプト、カタール、トルコの仲介と米国の保証で、ガザ停戦第2段階の合意に達した。その合意は、トランプ大統領が提示した戦争終結に向けた20項目の計画から構成されていた。

停戦合意の第1段階は停戦発効の翌日10月11日に発効したが、その後イスラエルは数百回の停戦違反を行い、人道支援へのアクセスの保障や援助物資搬入などの義務を履行しなかった。ハマスは停戦遵守を実行しているのに、イスラエルは攻撃を継続し、ガザ保健省によれば停戦以降にパレスチナ人400人以上が殺害された。

イスラエル側は第2段階への移行を遅らせている。その理由として、人質や捕虜の遺体が全部返還されていないことを上げている。そもそも捕虜や人質はイスラエルの爆撃で死亡したり行方不明になり、その遺体捜索はイスラエルの広範囲にわたる破壊で困難を極めた。

トランプが提案した第二段階には、ガザ統治のための暫定的テクノクラート行政体の設置、復興の監督、和平評議会の設置（トランプが委員長になる）、国際安定化部隊の派遣、イスラエル軍のさらなるガザからの撤退、ハマスの武装解除などが含まれ、それが交渉条項となる。